私のロボット

ジェフ・メン

　私たちは先進国に住んでいるので、プールで泳いだり、シャワーを浴びたりすることができます。でも、世界にはそのようなことをぜいたくだと思う人々がたくさんいます。例えば、アフリカには、飲み水が珍しい場所がたくさんあります。そこに住んでいる人たちは毎日飲み水を探すためにたくさん歩かなければいけません。水が足りないために人々の時間と命が失われています。私はそのような人たちのために水を探せるロボットを作りたいです。

　私のロボットは「水亀」と言います。砂漠のような場所には電気があまりありませんので、電池をせつやくすることが大事です。亀はあまり速くないですが、動くためにたくさんのエネルギーを必要としませんので、「水亀」は亀の形をしています。「水亀」という名前には、亀の形をしているという理由だけでなく、私の願いもこめられています。亀は砂漠に住んでいる人たちのように水が必要です。でも、水があれば何百年も生きます。「水亀」の助けがあれば、砂漠に住んでいる人たちのじゅみょうは長くなり幸せになれると思うので「水亀」という名前をつけました。

　「水亀」は毎朝家を出て川に行きます。川に到着したら、川の水を飲みます。「水亀」は水を保存するために川からの水をおなかに入れます。「水亀」のおなかには浄水器があるので、家に帰る間に川からの水をきれいで安全にします。家に帰った後、水を大きいタンクに入れます。 「水亀」のおなかは大きいので、持ち帰った水は小さい町の水の必要を満たせます。 でも、毎日そのようにたく

さん歩いたら、たくさん電池が必要ですが、砂漠のような場所には電気があまりありません。この問題を解決するために「水亀」の甲羅はソーラーパネルで作られています。

もう一つ問題があります。「水亀」はたくさん歩けば壊れてしまうかもしれません。 歩く量を少なくするために雨が降っている日には「水亀」の頭の上にメキシコのソンブレロのような帽子を置いて、水をたくさん集めるということもできます。それに、タンクがいっぱいの時には、「水亀」は自分で水を探しに行かないと決めます。この二つの機能があるため、「水亀」はメンテナンスを十年以上する必要がありません。

「水亀」は人々の時間を節約するだけではなく、命も救えます。世界の多くの人々は飲み水がないために貧しい生活をしています。「水亀」の助けがあれば、そのような人々は幸せになれます。「水亀」は世界を変えられるロボットです。